



私たちの目指す楽しい未来



目標③ 手洗い・体調管理をしっかりし、健康である事。

目標⑦ エコバッグを持ち歩き資源の節約をする。

目標①②③⑪

能登半島地震被災支援資金に協力させてもらい、災害の怖さ、命の大切さを話し合いました。

ゴミを捨てる時、燃えるゴミなのか、資源ゴミなのか、子供が自分で考えて捨てられるようになった。

文力幼稚園で教えてもらっているから、子供の意識も変わった気がします。

冬休みの始まりの頃は比較的暖かい日が多かった為、暖房を切り過ぎることを心がけました。

元旦に北陸の地震が起った為、今ある日常が決して当たり前ではないとみんなが元気に生きて一緒にいられることを改めて感謝できるような話し合いました。又、自分にできることは何か聞いてみると「お年玉からお金をあげる」「あかちゃんに水やミルクをあげる」と自分なりに考えることもできました。

そしてお正月を過ぎることに感謝し、お年玉をあげ、福笑いの他にも「ことわざ」を覚えることに一生懸命になっていました。お年玉を渡して身体をたくさん動かして、健康に過ごすことが出来ました。

270g程度の使い捨てのハンドペーパーのおもちゃをリサイクルボックスに入れ、新しい物に作り変えられる取り組みをとり、地域の資源回収で古着を回収したりしました。
CO₂削減の取り組みで、身近な距離での移動手段として車ではなく自転車や徒歩でなるべく車を動かさず、経済的・環境的にもecoの活動をします。

目標⑤ ジェンダー平等について考える。(家族はチーム。ジェンダーで分けて考えず、みんなが家事をする)

目標⑥ 安全な水を大切に。(水を出しっぱなしにしない)

目標② 責任を持って使い、使う。(自分が消費できる分だけ使い、無駄を減らす。ゴミの分別は、リサイクルをできる限り意識する)

サンタさんにおもちゃをもらって、そのおもちゃで遊んでいければ、外に出て縄跳びの練習をかねて体をたくさん動かして遊ばせたい。息が白く、寒い話しながら外であそんで、帰ると、(はし、お風呂の洗い物をして、お風呂のおもちゃは取り出して、野菜、肉、魚など栄養のあるものを食べて、冬休み中も早寝早起きをして、目標③を達成したい。冬休み中も)

でんきをこまめにけしました。 たんぱうをひめわおんどでつけました。

- ・子どもたちに子ども専用のマイバッグを用意しました。自分たちで買ったおやつや本、おもちゃなどは自分のエコバッグに入れるよう伝えると喜んで使ってくれています。
- ・使わなくなったおもちゃや着られなくなった洋服を周りの知り合いに譲ったり、海外の子どもたちに届ける活動をしている団体に寄付をしました。
- ・自宅に出たゴミを家の裏庭にあきまろコンポストへ捨てるに付き、まゴミがこれらどうなるかを子どもたちと共に観察したいと思っています。
- ・夜、寝る前の時間にはいつも照明を暗くして、つける電気の数も減らして電気を消費しないようにしました。テレビを見るのもやめておんこあそびやお話など、iPadと遊べるようにして、自然と睡眠時間も早くなると思います。

我が家では、特に目標は「つくる責任つかう責任」について話し合い、下記の通り取り組みました。

下記の通り取り組みました。

- ・電気やエアコンの付け置きを無くすよう、家族みんなで「気をつけ、あけ確認」。
- ・湯たんぽや温かい部屋着を活用し、適宜エアコンを消したり、設定温度を下げるようにした。
- ・ごはんを作る時は、食べきれず量を作り、食べる方は残さず「食べる」。
- ・食料の使い残しを減らすため、冷蔵庫内の配置を見直した。
- ・年末大掃除では、不要な物をなるべくリサイクルしてリサイクルする先を探した。

目標② 貧困・飢餓について考える

世界には食料不足で苦しんでいる人がいることを理功に説明し、食事を残さず食べることを意識してもらいました。

これまでは食事の途中で「食べない、くうない」と言いながら食事を終わらせていることが多かったですが、〇〇自身が「ご飯を食べたくても食べられない人がいるんだね。」と、最後まで「食べようとする姿勢」をみられました。

これから食べ物も粗末にせず、感謝の気持ちを持って食事をしたいと思っています。

目標③ (体・心の健康) 健康であること!

寒い室内ばかりで過ごさず、外でも適度に体を動かす。手洗いうがいをして風邪予防をする。

目標⑦ (大切な資源の節約) 節電

暖房の温度を23~24℃にして寒い時は「はんたんぽ」を着用する。誰もいない部屋は、基本的に暖房・電気をつけない。(徹底)

冬休みにご家庭でSDGsにトライ!していただき、ありがとうございました。家族で話し合い、SDGsについて考えたこと、実践したことなどをご紹介させていただきました・・・。

楽しい未来に向けて、幼稚園でもご家庭でもSDGsにトライ!していきましょう!! ありがとうございます。